

まもなく開催しますので  
少々お待ちください。

## 仕事に活かす初めての 生成AI活用入門

デジタル技術の経験が無く生成AIを業務で活用する機会がない方を対象に、グループワークを通じて生成AIによる文章や画像の生成を体験し、自社での適用方法を検討していきます。

# Zoomの氏名はフルネームでご記載ください。  
(出席確認に利用します)

#教室の方はPCをインターネットに接続した状態でお待ちください。

米本 利行



## 米本 利行

Yonemoto Toshiyuki

### 情報処理技術者

- ・プロジェクトマネージャ ・システムアーキテクト
- ・データベーススペシャリスト ・ソフトウェア開発技術者

### 中小企業診断士

主に製造業のお客様に向けてPJ管理経験あり。  
ITに精通しない経営者と、事業に精通しないIT技術者との橋渡し役として、双方にその意図や目的をわかりやすく伝える仕事をしています。

# 本研修の進め方

---

- **教室とオンラインとの同時開催です。**

⇒オンラインから参加されている方で、何か困りごとがあった場合はチャット機能も利用出来ます。

⇒オンラインから参加されている方は・ビデオはONで参加下さい。

- **疑問点等があれば、その場でご質問ください。**

⇒皆さんの理解度に合わせながら研修を進める事が出来ます。

オンラインで参加されている方も発言して頂いて大丈夫です。

- **録画を行っています。**

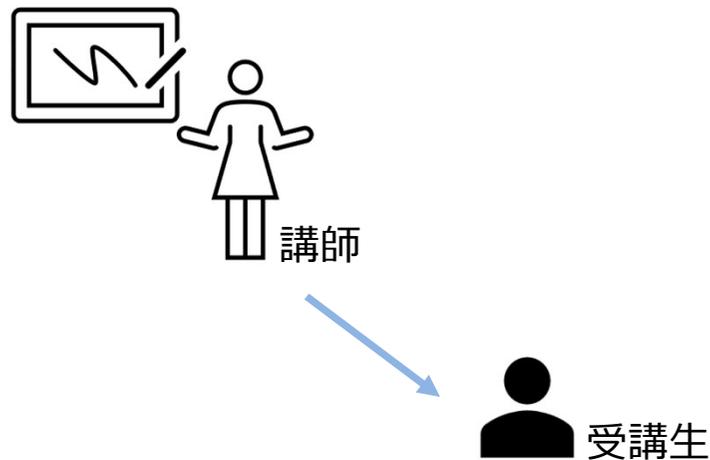
今後の講義品質向上と、当日不参加の方への配布のために録画を予定しています。参加者の画像はカットする等の配慮はしておりますが、不都合のある方は予めご連絡下さい。

# 本研修の進め方

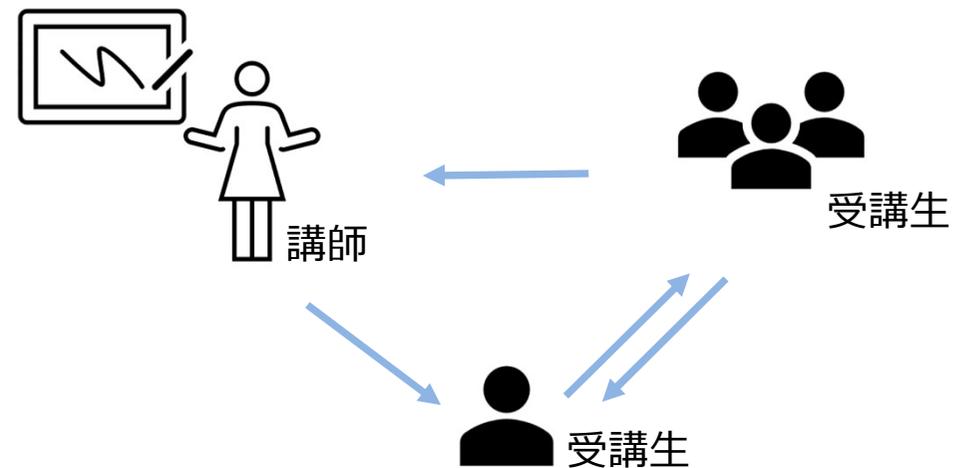
## ・本研修はワーク形式で進めます

1. 積極的に参加下さい。講師も皆さんに積極的に話しかけます。
2. セミナーで得た他受講生の情報は、セミナー外の利用を禁止します。
3. 機密情報の公開は控えてください。
4. 講師からだけでなく、チームメンバーからも学びましょう
5. 楽しんでセミナーを受講して下さい。
6. 一緒に楽しいセミナーを作り上げていきましょう。

### ワーク形式のイメージ



片方向



双方向

## 目的

## 生成AIをビジネスの現場で活用すること

1. 生成AIを利用して文章及び画像を生成出来ること
2. AIの技術的背景を理解すること
3. 生成AIを利用する際の課題と対策を理解すること

## ゴール

# ワーク：自己紹介

本研修を通じて学び、活かしたいことを共有します

ワーク前提の確認

- ・ワークの背景を確認します。（講師と共に共有）

3分  
× 4

自己紹介と  
施策の共有

- ・3名～4名1組のチームで行います。
- ・以下の項目を1人1分で共有します。  
「現在の業務」「生成AIの利用状況」「講義への期待」  
+「好きなフルーツ」
- ・他の人はそれぞれ30秒程で質問やコメントをしてください。
- ・発表順は講師に一番近い方から開始してください。  
（オンラインは名前の50順で一番早い方から）

全体共有

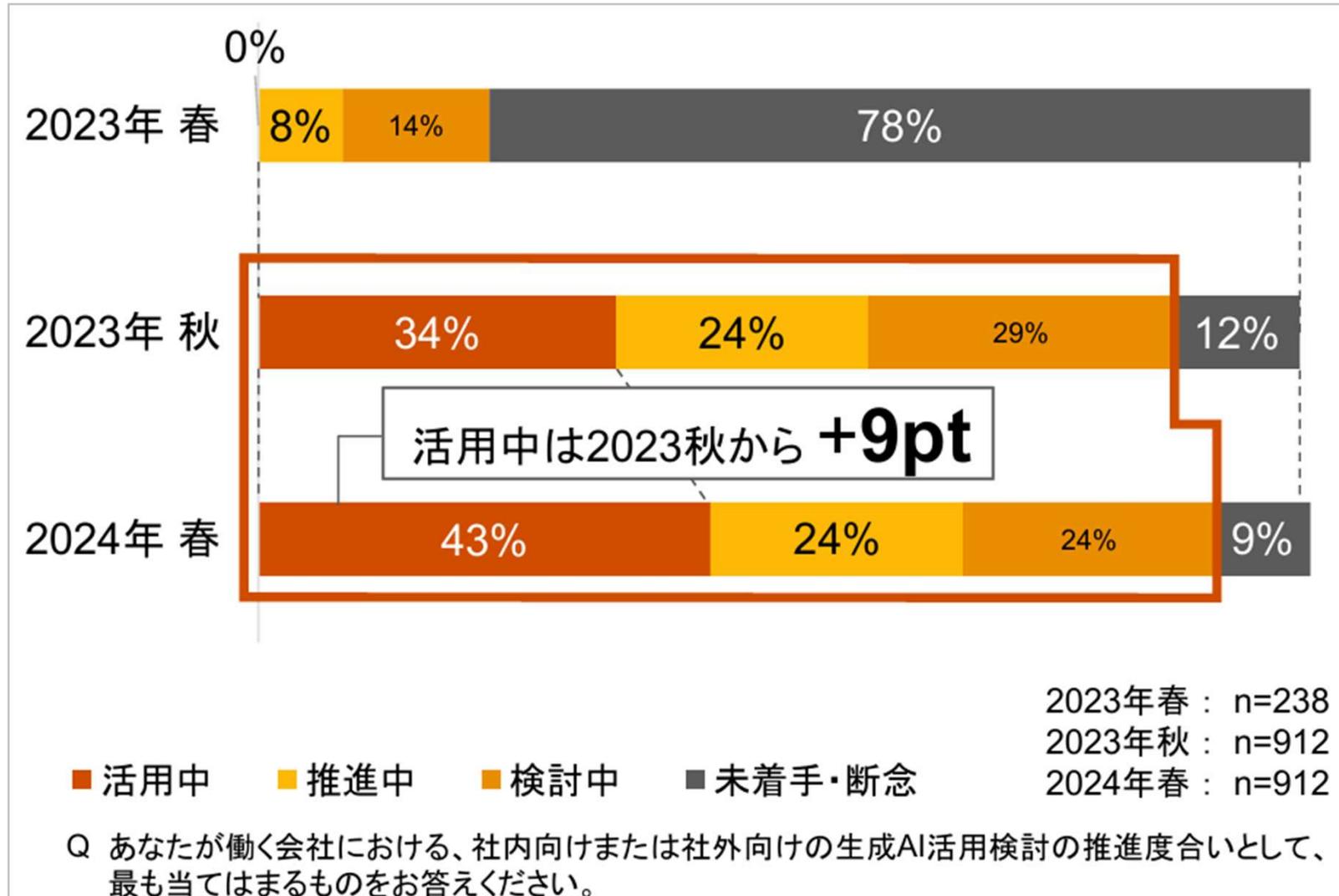
- ・チームで挙がった内容を共有します。

# 生成AIをとりまく状況



# 自社の生成AIの活用の進捗度合い

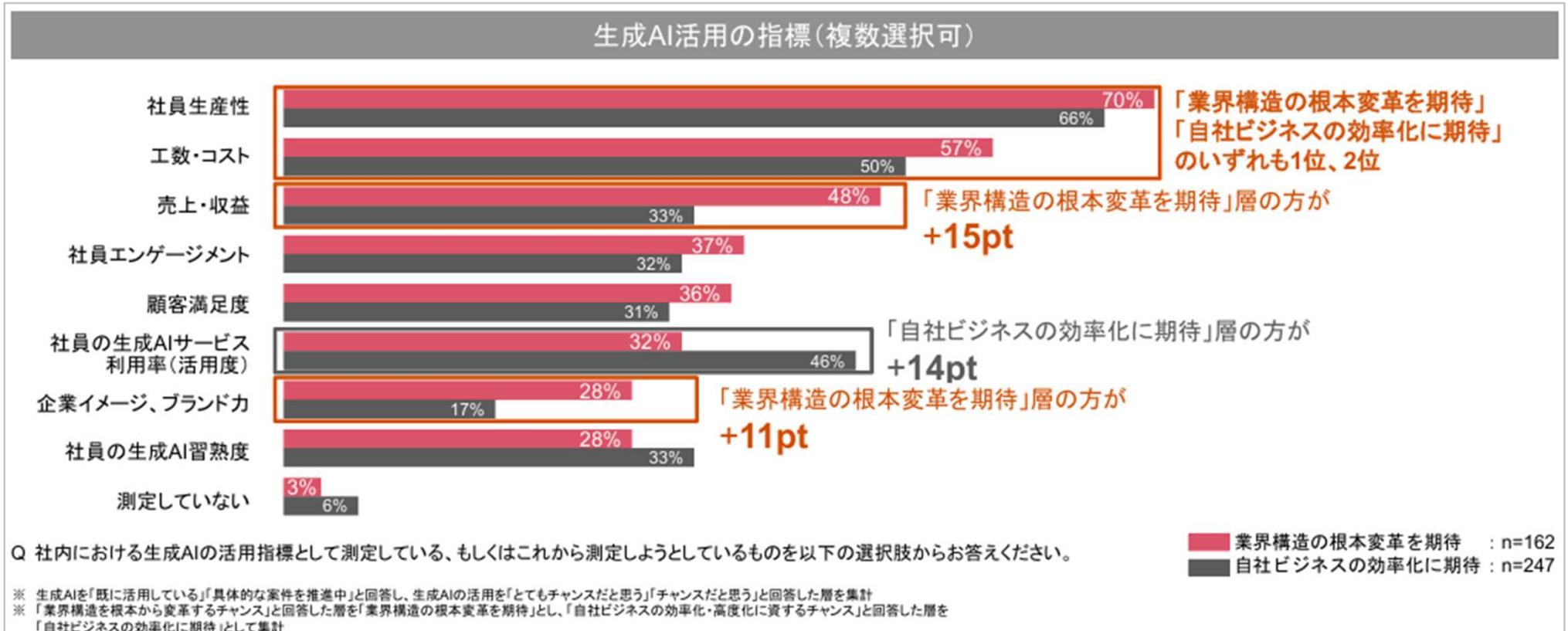
## ■ 自社の生成AI活用の進捗度合い



出典：PwCコンサルティング合同会社「生成AIに関する実態調査2024春」

# 生成AI活用の指標

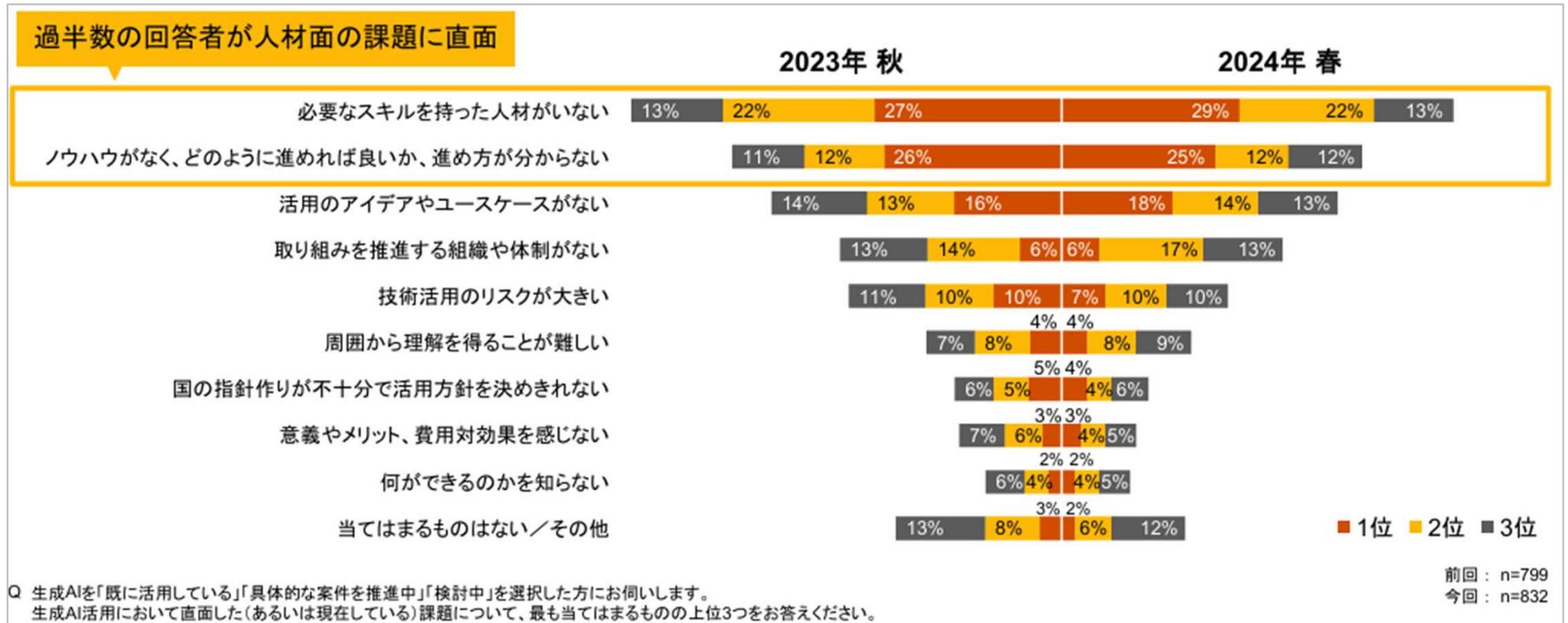
## ■ 生成AI活用の指標（複数選択可）



出典：PwCコンサルティング合同会社「生成AIに関する実態調査2024春」

# 推進において人材面での課題に直面

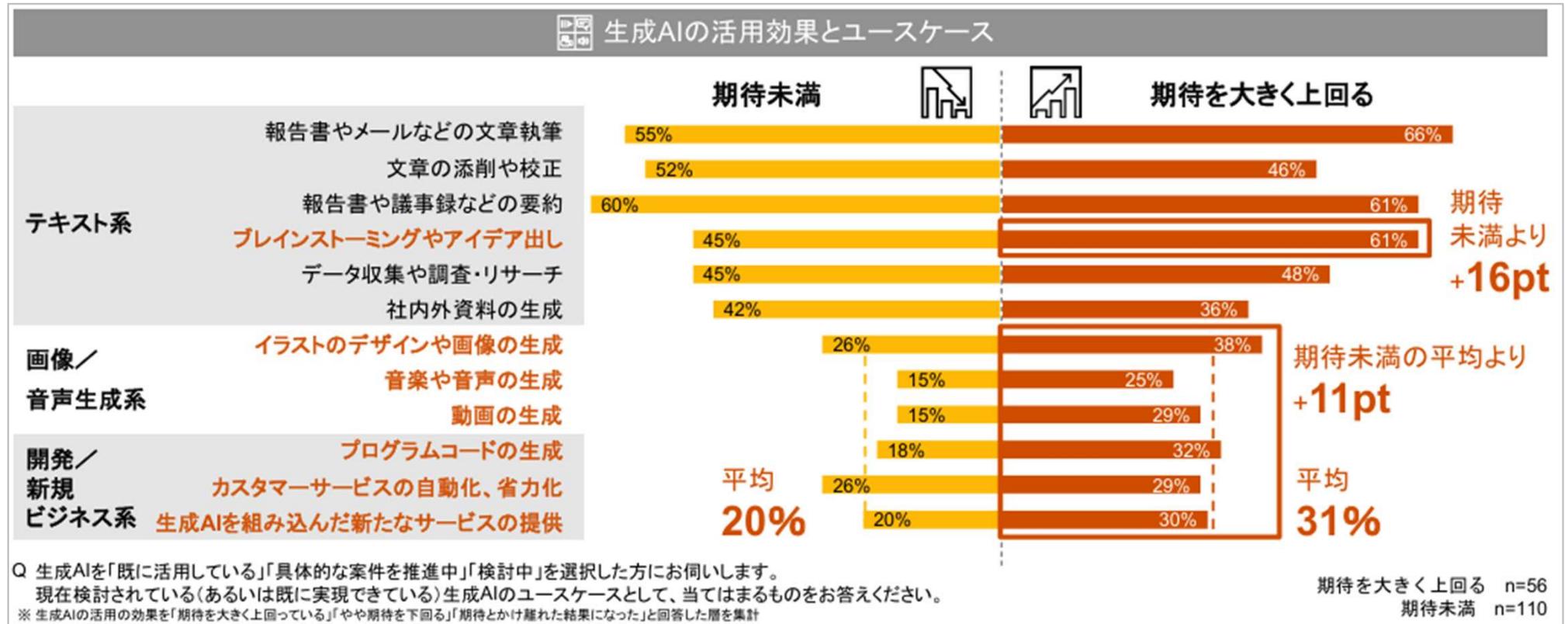
- 生成AI活用において直面した課題（あるいは現在している）課題について、最も当てはまるものの上位3つ。



出典：PwCコンサルティング合同会社「生成AIに関する実態調査2024春」

# 生成AIの活用効果とユースケース

## ■ 生成AIの活用効果とユースケース



出典：PwCコンサルティング合同会社「生成AIに関する実態調査2024春」

新製品を開発する



# 前提（ワーク共通）：スイーツ店の運営

## 概要

- ・親戚が運営していた洋菓子／和菓子店が受け継ぎ先を検討中。
- ・後継の店主にはあなたに白羽の矢が立ち、店舗の運営方針全般に関わる事になった。
- ・既存の従業員には洋菓子／和菓子共に熟練の職人が在籍している。

## 事業状況

- ・店舗のリニューアルを検討中。時代に即したお店にしたい。
- ・新しい顧客の獲得方法として名物メニューを模索中。



# ワーク：今までにない新メニューの作成

- ・「フルーツ」と「お菓子」を組み合わせた名物となるような新メニューを設定してください。  
# 内容は思い付きで結構です。楽しくてお客様が喜びそうなものを。

## フルーツ

あなたが好きなフルーツ（先ほど皆で共有したもの）

## お菓子

あなたが好きなお菓子（例：かき氷、パフェ等）

## 新メニュー

自由に設定する（例：イチゴヨーグルトパフェ）

# ワーク：DALL-Eで写真／イラストを作成する

画像生成AI（DALL-E3）を利用して新メニューの写真／イラストを作成します

ワーク前提の確認

・ワークの背景を確認します。（講師と共に共有）

5分

Microsoftアカウント  
に登録する

・Microsoftアカウントに登録します。  
（既にWindowsを利用している方は不要。）

15分

DALL-Eを試す

・「ImageCreator」からDALL-E3を使ってみます

# ワーク：DALL-Eで写真／イラストを作成する

---

## 手順1

Microsoftアカウントに登録する。（既にWindowsを利用している方は不要。）

# ワーク：DALL-Eで写真／イラストを作成する

## 手順 2

「Bing ImageCreator」で検索。トップページに遷移します。

The screenshot displays the Bing Image Creator interface. At the top, it shows the Microsoft Bing logo and the user's name 'Toshiyuki'. Below the search bar, there is a prompt: 'Image Creator のしくみを確認しますか? [お任せで探す] を選択してから、[作成] を選択します'. To the right of this prompt, there is a coin icon with the number '15' and a pink '作成' (Create) button. The main content area features three large image cards with descriptive text and tags:

- 雰囲気/ムード**: 1日の時間、気持ち、または美しいを含めてみてください。 Tags: + golden hour, + playful
- 写真**: 1日の時間、気持ち、または美しいを含めてみてください。 Tags: + 85mm lens, + wide angle
- アートスタイル**: イラストのスタイル、アートの期間、または素材をお試しください。 Tags: + marble, + impressionism

Below these cards, there is a section titled 'アイデアを探す' (Find ideas) which displays a horizontal row of six diverse images: a tulip field at sunset, a picnic basket with fruit, a waterfall with a rainbow, a butterfly on a flower, a path through a cherry blossom forest, and a person sitting on a bench in a park.

# ワーク：DALL-Eで写真／イラストを作成する

## 手順 3

検索ワード（プロンプト）に生成したい写真／イラストを記述し「作成」します。



## プロンプトの書き方

より具体的な記述をする事でイメージに近い写真／イラストが生成されます。  
「場所」「形容詞」「連体詞（名刺を修飾する）」「コンセプト（～風の）」など

悪い例

イチゴパフェ

良い例

フランスにある洋菓子店で、クリームとイチゴが3段の層になっているイチゴパフェ。映画のような質感が特徴の写真。

# ワーク： DALL-Eで写真／イラストを作成する

作成した新メニューの写真／イラストを共有します

ワーク前提の確認

・ワークの背景を確認します。（講師と共に共有）



4分  
×4

新メニューを共有する

・3名～4名1組のチームで行います。  
・以下の項目を1人1分で共有します。

1. 新メニューのコンセプト
2. 対象とする顧客
3. 新メニュー名

・他の人はそれぞれ1分程で質問やコメントをしてください。

ChatGPTでアイデア出しをする



# ワーク：ChatGPTでアイデア出しをする

ChatGPTを相談相手にアイデア出しを行います

ワーク前提の確認

- ・ワークの背景を確認します。（講師と共に共有）

5分

ChatGPTに登録する

- ・Googleアカウントで連携します。

15分

ChatGPTを試す

- ・いくつかの問いを投げてChatGPTを使ってみます
- ・メニュー名を相談してみます。

4分  
×3

新メニュー名を共有する

- ・3名～4名1組のチームで行います。
- ・以下の項目を1人1分で共有します。
  1. 新メニュー名のコンセプト
  2. 決定した新メニュー
- ・他の人はそれぞれ1分程で質問やコメントをしてください。

# ワーク：Googleアカウントを作成する

## 手順

Googleアカウントを取得します。

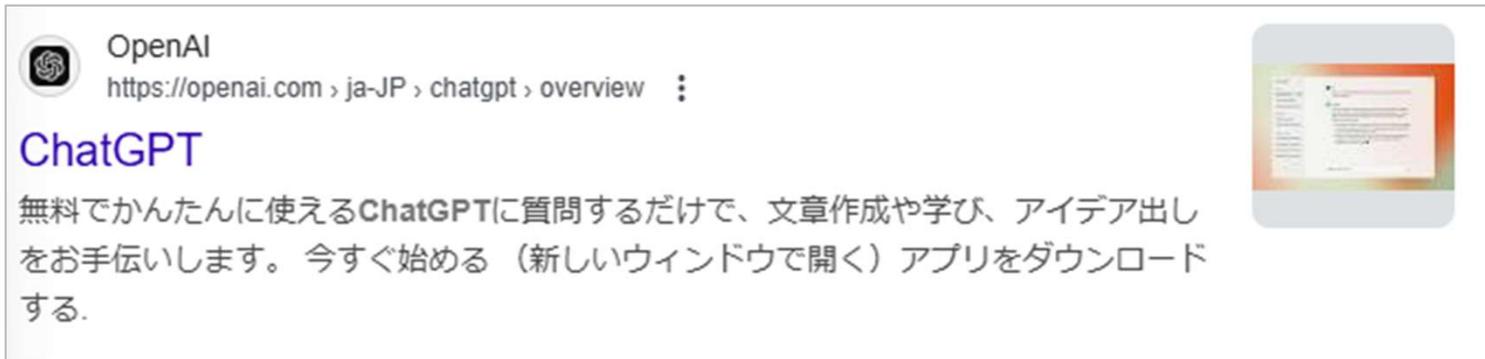
→ログイン→アカウントを作成→個人で使用→（ガイドに従って作成）



# ワーク：ChatGPTを相談相手にする

## 手順

検索エンジンから「ChatGPT」を検索→「ChatGPT」を選択



The screenshot shows a search result for ChatGPT. It features the OpenAI logo, the text "OpenAI", and the URL "https://openai.com › ja-JP › chatgpt › overview". Below this is the title "ChatGPT" and a description: "無料でかんたんに使えるChatGPTに質問するだけで、文章作成や学び、アイデア出しをお手伝いします。今すぐ始める（新しいウィンドウで開く）アプリをダウンロードする。". To the right of the text is a small thumbnail image of the ChatGPT interface.

# ワーク：ChatGPTを相談相手にする

## 手順

「今すぐ始める」を選択



The screenshot shows the OpenAI website interface for ChatGPT in Japanese. At the top, there is a navigation bar with 'OpenAI' on the left and a search icon on the right. Below this, there are links for '研究' (Research), '製品' (Products), '安全性' (Safety), and '企業情報' (Company Information). The main header area includes 'ChatGPT' on the left and links for '無料版とPlus' (Free and Plus), 'Team', 'Enterprise', 'Education', and '料金' (Pricing). The central content area features the text 'ChatGPT' followed by the large headline '答えを手にも。ひらめきを感じて。生産性を新たな次元へ。' (Answers in your hands. Feel the spark. Productivity to a new dimension.). Below the headline is a sub-headline: '無料でかんたんに使えるChatGPTに質問するだけで、文章作成や学び、アイデア出しをお手伝いします。' (Simply ask ChatGPT, which is easy to use for free, and we'll help you with writing, learning, and idea generation.). At the bottom, there are two buttons: '今すぐ始める' (Get started now) and 'アプリをダウンロードする' (Download the app).

# ワーク：ChatGPTを相談相手にする

## 手順

「サインアップ」を選択 ⇒「Googleで続行」

ChatGPT 4o mini ▾

ログイン

サインアップ

### アカウントの作成

メールアドレス\*

続ける

すでにアカウントをお持ちですか？ [ログイン](#)

または

 Google で続行

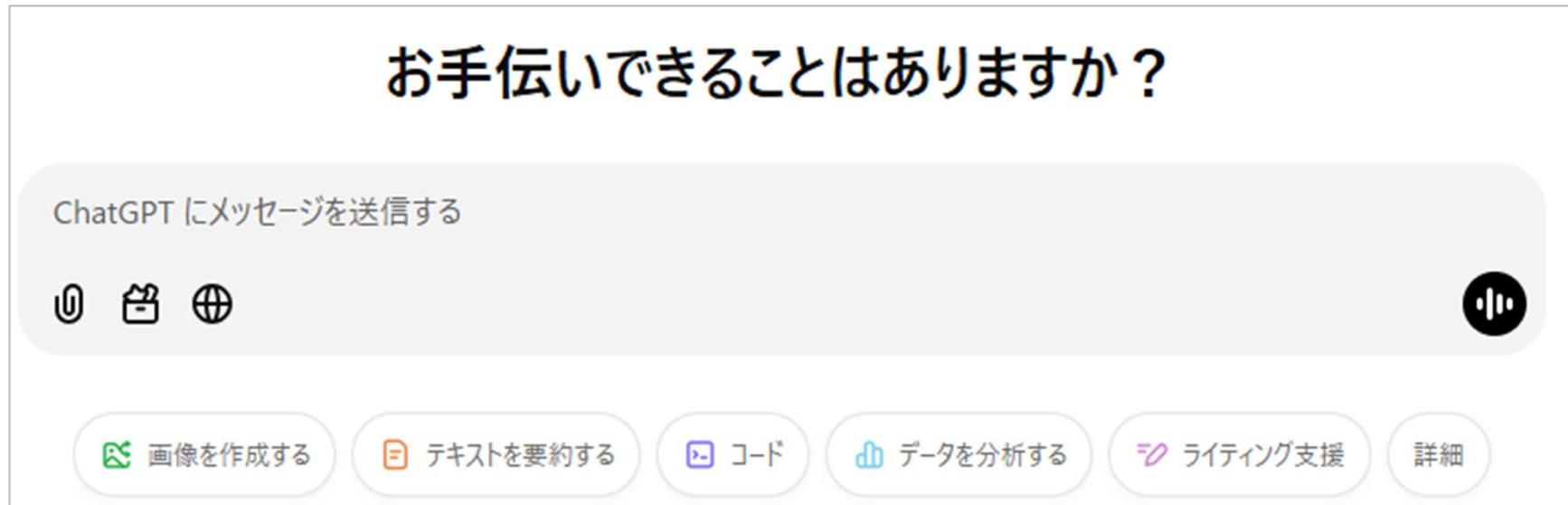
 Microsoft アカウントで続行

 Apple で続行

# ワーク：ChatGPTを相談相手にする

## 手順

ChatGPTに登録する。→メッセージを送信できるようになる。



# ワーク：ChatGPTを相談相手にする

## 手順

ChatGPTを試す。

店舗名を相談してみる。

1. プロンプトに次を入力する「ChatGPTへの指示の出し方のポイントを教えてください。」及び「新メニューのアイデア出しに有効な指示の出し方を教えてください。」
2. 上記回答に沿った内容で新メニューの名称案の提案させる。（下記参照）
3. プロンプトを変更しいくつか試行する。

## プロンプトの書き方

より具体的な記述をする事でイメージに近い回答が生成されます。

「役割」「背景」「目的」「コンセプト」など

### 悪い例

良いメニュー名を教えてください。

### 良い例

あなたは経営コンサルタントです。新規にオープンする菓子の候補名をいくつか挙げてください。周辺には競合他社が多く存在するため、ユニークな名前が望ましいです。イチゴとヨーグルトを使ったメニューが評判です。和菓子の職人も在籍するため、高齢者にもなじみやすい和の雰囲気を感じさせる名称が望ましいです。

# ワーク：ChatGPTでアイデア出しをする

ChatGPTを相談相手にアイデア出しを行います

ワーク前提の確認

- ・ワークの背景を確認します。（講師と共に共有）

5分

ChatGPTに登録する

- ・Googleアカウントで連携します。

15分

ChatGPTを試す

- ・いくつかの問いを投げてChatGPTを使ってみます
- ・メニュー名を相談してみます。

4分  
×3

新メニュー名を共有する

- ・3名～4名1組のチームで行います。
- ・以下の項目を1人1分で共有します。
  1. 新メニュー名のコンセプト
  2. 決定した新メニュー
- ・他の人はそれぞれ1分程で質問やコメントをしてください。

AIモデルを作成する



# AI（人工知能）とは

データから学習し特定のタスクを実行するために作成された数学的なモデル

## （例）ベーカリースキャン

トレイの上のパンをカメラで撮影して、その個数と種類を一括識別する装置。バーコードが付いていないパンを効率的に販売することが出来る。



1

トレイをカウンターに置く

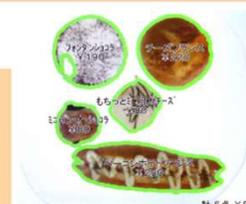
パンを載せたトレイを撮影ユニットに置きます



2

トレイ上のパンをスキャン

色・形・大きさ・焼き加減などの微妙な違いを識別  
約1秒でトレイ上の商品を判別します



3

ボタンひとつでレジ入力完了！

商品ボタン・バーコードでの操作も可能です



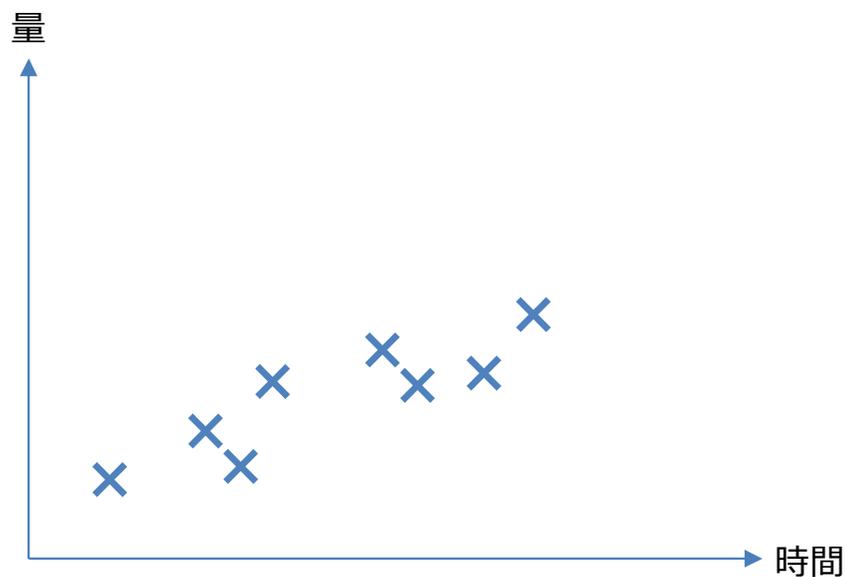
出典：株式会社ブレインHPより

特定の問題を解決するために、データを処理しパターンを識別（パンの形や色）  
予測や意思決定を行うために使用される

# AIモデルの例

データのパターンを識別することがAIモデル

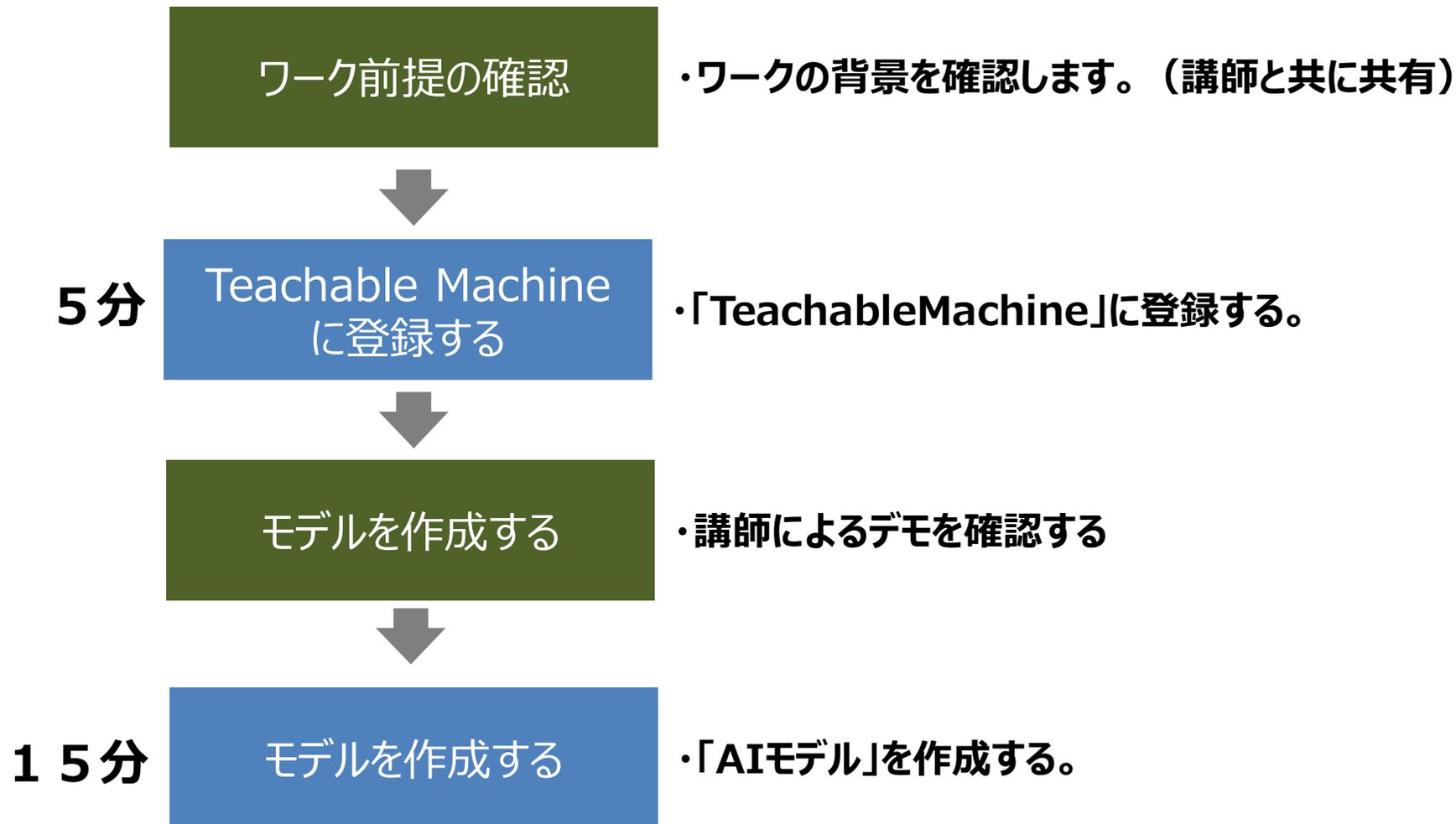
将来予測（例）



AIモデルの精度は、利用可能なデータの種類や量  
解決すべき問題の性質によって異なる

# ワーク：AIモデルを作成する

AIモデルの作成を通じてその技術的背景を理解する



# ワーク：AIモデルを作成する

---

## 手順

TeachableMachineに登録します。→検索窓から「TeachableMachine」で検索



Teachable Machine

<https://teachablemachine.withgoogle.com> · [このページを訳す](#) :

### Teachable Machine

Teachable Machine is a web-based tool that makes creating machine learning models fast, easy, and accessible to everyone. (Note: you can find the first version ...

# ワーク：AIモデルを作成する

## 手順

TeachableMachineに登録します。→「使ってみる」を選択

# Teachable Machine

独自の画像、音声、ポーズを認識するようコンピュータをトレーニングします。

サイト、アプリなどに使う機械学習モデルをすぐに、簡単に作成できる方法です。専門知識やコーディングは必要ありません。

使ってみる

# ワーク：AIモデルを作成する

## 手順

TeachableMachineに登録します。→「画像プロジェクト」を選択

## 新しいプロジェクト

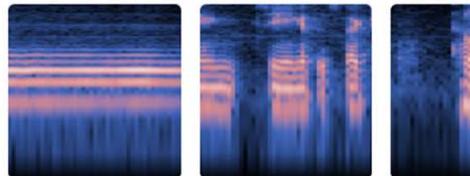
 ドライブから既存のプロジェクトを開きます。

 ファイルから既存のプロジェクトを開きます。



### 画像プロジェクト

ファイルやウェブカメラからの画像に基づいて学習させます。



### 音声プロジェクト

ファイルまたマイクからの1秒間の音声に基づいて学習させます。



### ポーズプロジェクト

ファイルやウェブカメラからの画像に基づいて学習させます。

# ワーク：AIモデルを作成する

## 手順

TeachableMachineに登録します。→「標準の画像モデル」を選択

### 新しいイメージプロジェクト

#### 標準の画像モデル

ほとんどのユーザーに最適

224x224px のカラー画像

TensorFlow、TFLite、TF.js にエクスポート

モデルサイズ: 約 5 MB

#### 埋め込み型の画像モデル

マイクロコントローラに最適

96x96px のグレースケール画像

TFLite for Microcontrollers、TFLite、TF.js にエクスポート

モデルサイズ: 約 500 KB

[このモデルをサポートしているハードウェアについてはこちらをご覧ください。](#)

# ワーク：AIモデルを作成する

## 手順

TeachableMachineでAIモデルを作成する。

→「何が画面に表示されたかを判別するAIモデル」を作成する。

例：「ペットボトル」か「手帳」なのか、等

The screenshot displays the Teachable Machine web interface. At the top left, there is a menu icon and the text "Teachable Machine". The main area is divided into several sections:

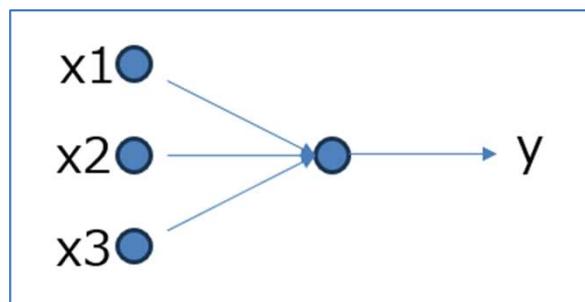
- Class 1**: A card with a pencil icon and a vertical ellipsis. Below it, the text "画像サンプルを追加する:" is followed by two buttons: "ウェブカメラ" (with a camera icon) and "アップロード" (with an upload icon).
- Class 2**: A similar card to Class 1, also with "ウェブカメラ" and "アップロード" buttons.
- トレーニング (Training)**: A central card with a button "モデルをトレーニングする" (Train model) and a "詳細" (Details) dropdown menu.
- プレビュー (Preview)**: A card with a button "モデルをエクスポートする" (Export model) and a text instruction: "ここでプレビューするには、左にあるモデルをトレーニングしてください。" (To preview here, please train the model on the left).
- クラスを追加 (Add class)**: A dashed box at the bottom with a plus icon and the text "クラスを追加".

# (参考) ディープラーニングとは

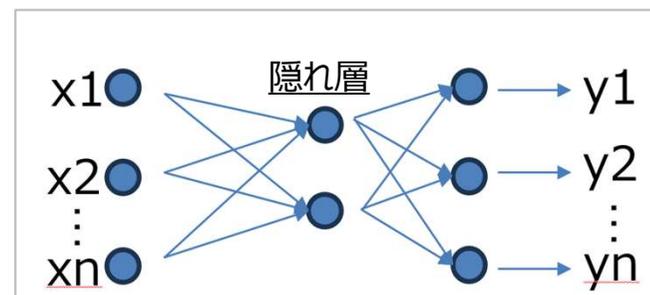
機械学習の1分野でより複雑な特徴を学習することができる



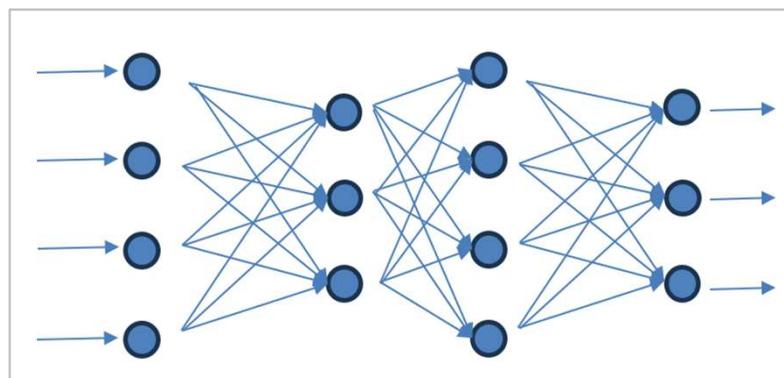
線形回帰



単純パーセプトロン



多層パーセプトロン  
(ニューラルネットワーク)



隠れ層が複数あるニューラルネットワーク

ディープラーニングは、隠れ層を増やしたニューラルネットワークのこと  
必要な計算機の能力向上と共に実現可能になった

組織で活用するために



# 生成AIを組織で活用する

## 日本ディープラーニング協会が生成AIの利用ガイドラインのひな形を公開中

### 生成AIの利用ガイドライン

生成AIの活用を考える組織がスムーズに導入を行っていただけるように、利用ガイドラインのひな形を策定し、公開します。

このひな形を参考に、それぞれの組織内での活用目的等に照らして、適宜、必要な追加や修正を加えて使用ください。

※2023年5月に公開した第1版に改訂を加えた第1.1版を公開（2023年10月～）しています。

※『生成AIの利用ガイドライン』に関するご意見やご感想は[こちら](#)よりお寄せください。

※[JDLA公式Youtubeチャンネル](#)にて公開中の記者発表の様子は、2023年5月1日公開の第1版の内容に基づいています。現在公開中のバージョンとは異なりますのでご注意ください。



#### 生成AIの利用ガイドラインの作成にあたって

1 ファイル 14.71 KB

ダウンロード



#### 生成AIの利用ガイドライン【条項のみ】(第1.1版, 2023年10月公開)

1 ファイル 24.14 KB

ダウンロード



#### 生成AIの利用ガイドライン【簡易解説付】(第1.1版, 2023年10月公開)

1 ファイル 33.45 KB

ダウンロード

組織における生成AIの活用を進めるためには利用ルール（ガイドライン）の設定だけでなく、**一人ひとりの活用リテラシー**も重要です。AI活用のためのリテラシー習得には「G検定」をご活用ください。

出典：日本ディープラーニング協会HP

ひな形を参考にガイドラインを作成することで、企業内での導入を進める事が出来る。

# [参考]生成AIの利用のガイドライン例 愛知県

## 生成A I の利用に関するガイドライン概要（2024年11月改定）

### I はじめに（本ガイドラインの目的）

生成AIは、行政業務の様々な場面に活用できる可能性がある一方で、情報漏えいや他者の権利侵害などの危険性が指摘。こうした危険性を回避しながら、行政業務において生成AIを利用するための指針として本ガイドラインを策定。

### II 生成A I の活用方策

#### 1 推奨する活用例

##### ○ アイデアの創出

膨大な学習データ等に含まれる様々な情報に基づいた回答を参考にして、より多くの視座から検討することができる。

##### ○ 文章の翻訳

高い精度での翻訳ができるほか、文章の趣旨は変えずに文章表現を変更させるなど一般的な翻訳ツールより効果的な使い方が簡易にできる。

##### ○ プログラムコード等の作成

Excel等で実行したい内容を指示し、回答として得られた関数やマクロのコード等を参考にすることにより、専門知識がなくとも、より高度な情報処理ができる。

#### 2 その他の活用例

挨拶文の文案など文章作成の補助、外部の会議録やアンケートなど情報量が多い文章の要約、事例等の情報収集

#### 3 生成AIを活用する上でのポイント

##### ○ 具体的な前提情報の入力

回答に求める立場、目的、形式等を入力の中で明示。

##### ○ 回答の精度を高めるための手法

得られた回答の深掘りなど、生成AIとの対話を繰り返す。

### III 利用にあたっての条件等

#### 1 生成AIの利用条件

○ 愛知県情報セキュリティポリシー等のルールを遵守。

○ 入力内容をAIの学習内容に反映させない。

#### 2 生成AIへの入力に関する禁止事項

○ 重要性A（個人情報など秘密を要する情報）に該当する情報の入力を禁止。

#### 3 生成物を利用する際の注意事項

○ 生成物の内容に誤りや差別・偏見等のバイアスが含まれていることを念頭に置き、必ず根拠や裏付けを自ら確認。

○ 生成AIはあくまで補助的なツールに過ぎないため、業務における検討・判断の責任は職員にあることを理解して利用。

○ 生成AIへの過度な依存は、学習・成長の機会を奪いかねない。業務や成果物の質を向上させるために生成AIを利用するのであって、職員は自ら考え判断することをこれまでどおり意識。

○ 生成物が著作権等既存の権利を侵害する恐れがあることを念頭に置き、類似著作物や登録商標等を調査。

○ 生成AIを利用した提供サービスを利用する際は、サービスのポリシー（利用規約等）上の制限に注意。

出典：愛知県HP「生成AIの利用に関するガイドライン」(2023年11月公開)

# 生成AIの利用ガイドライン（データ入力）

- (1) 第三者が著作権を有しているデータ（他人が作成した文章等） ←

単に生成 AI に他人の著作物を入力するだけの行為は原則として著作権侵害に該当しません。 ←

もつとも、当該入力対象となった他人の著作物と同一・類似する AI 生成物を生成する目的がある場合には、入力行為自体が著作権侵害になる可能性があります。 ←

また、生成されたデータが入力したデータや既存のデータ（著作物）と同一・類似している場合は、当該生成物の利用が当該著作物の著作権侵害になる可能性もありますので注意してください。具体的には「6 (2) 生成物を利用する行為が誰かの既存の権利を侵害する可能性がある」の部分を参照してください。 ←

また、ファインチューニングによる独自モデルの作成や、いわゆるプロンプトエンジニアリングのために他者著作物を利用することについても原則として著作権侵害に該当しないと考えられます。 ←

# 生成AIの利用ガイドライン（データ入力）

- (2) 登録商標・意匠（ロゴやデザイン） ←

商標や意匠として登録されているロゴ・デザイン等を生成 AI に入力することは商標権侵害や意匠権侵害に該当しません。 ←

もともと、この点は著作物と同様、あくまで「入力行為」に関するものである点に注意が必要です。故意に、あるいは偶然生成された、他者の登録商標・意匠と同一・類似の商標・意匠を商用利用する行為は商標権侵害や意匠権侵害に該当します。 ←

すなわち、生成 AI にロゴやデザインを入力する際には登録商標・意匠の調査の必要性は乏しいですが、生成物を利用する場合には調査が必要です。 ←

# 生成AIの利用ガイドライン（データ入力）

- (3) 著名人の顔写真や氏名←

著名人の顔写真や氏名を生成 AI に入力する行為は、当該著名人が有しているパブリシティ権の侵害には該当しません。 ←

ただし、生成 AI を利用して生成された著名人の氏名、肖像等については、それらの氏名や肖像等を商用利用する行為はパブリシティ権侵害に該当しますので注意してください。 ←

# 生成AIの利用ガイドライン（データ入力）

- (4) 個人情報←

【ChatGPT】においては入力したデータが【OpenAI 社】のモデルの学習に利用されることになっていきますので、【ChatGPT】に個人情報（顧客氏名・住所等）を入力する場合、当該個人情報により特定される本人の同意を取得する必要があります。そのような同意取得は現実的ではありませんので、個人情報を入力しないでください。←

【ただし、利用する生成 AI によっては、特定の条件を満たせば個人情報の入力が適法になる可能性もあります。詳細は【セキュリティ部門】にお問い合わせください。】←

# 生成AIの利用ガイドライン（データ入力）

- (5) 他社から秘密保持義務を課されて開示された秘密情報←

外部事業者が提供する生成 AI に、他社との間で秘密保持契約（NDA）などを締結して取得した秘密情報を入力する行為は、生成 AI 提供者という「第三者」に秘密情報を「開示」することになるため、NDA に反する可能性があります。←

そのため、そのような秘密情報は入力しないでください。←

- (6) 自組織の機密情報←

自【社】内の機密情報（ノウハウ等）を生成 AI に入力する行為は何らかの法令に違反するということはありませんが、生成 AI の処理内容や規約の内容によっては当該機密情報が法律上保護されなくなったり特許出願ができなくなったりしてしまうリスクがありますので、入力しないでください。←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

---

- (1) 生成物の内容に虚偽が含まれている可能性がある←

大規模言語モデル（LLM）の原理は、「ある単語の次に用いられる可能性が確率的に最も高い単語」を出力することで、もっともらしい文章を作成していくものです。書かれている内容には虚偽が含まれている可能性があります。←

生成AIのこのような限界を知り、その生成物の内容を盲信せず、必ず根拠や裏付けを自ら確認するようにしてください。←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

---

## ① 著作権侵害←

生成 AI を利用して出力された生成物が、既存の著作物と同一・類似している場合は、当該生成物を利用（複製や配信等）する行為が著作権侵害に該当する可能性があります。←

そのため、以下の留意事項を遵守してください。←

- ・ 特定の作者や作家の作品のみを学習させた特化型 AI は利用しないでください。←
- ・ プロンプトに既存著作物、作家名、作品の名称を入力しないようにしてください。←
- ・ 特に生成物を「利用」（配信・公開等）する場合には、生成物が既存著作物に類似しないかの調査や生成物の利用が権利制限規定（著作権法 30 条 1 項や同 30 条の 3 等）に該当するかの検討を行うようにしてください。←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

---

## ② 商標権・意匠権侵害←

画像生成 AI を利用して生成した画像や、文章生成 AI を利用して生成したキャッチコピーなどを商品ロゴや広告宣伝などに使う行為は、他者が権利を持っている登録商標権や登録意匠権を侵害する可能性がありますので、生成物が既存著作物に類似しないかの調査に加えて、登録商標・登録意匠の調査を行うようにしてください。←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

---

## ③ 虚偽の個人情報・名誉毀損等←

【ChatGPT】などは、個人に関する虚偽の情報を生成する可能性があることが知られています。虚偽の個人情報を生成して利用・提供する行為は、個人情報保護法違反（法 19 条、20 条違反）や、名誉毀損・信用毀損に該当する可能性がありますので、そのような行為は行わないでください。←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

- (3) 生成物について著作権が発生しない可能性がある←

仮に生成物に著作権が発生していないとすると、当該生成物は基本的に第三者に模倣され放題ということになりますので、自らの創作物として権利の保護を必要とする個人や組織にとっては大きな問題となります。←

この論点については、生成 AI を利用しての創作活動に人間の「創作的寄与」があるか否かによって結論が分かりますので、生成物をそのまま利用することは極力避け、できるだけ加筆・修正するようにしてください。←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

- (4) 生成物を商用利用できない可能性がある←

生成 AI により生成した生成物をビジネスで利用する場合、当該生成物を商用利用できるかが問題となります。←

この論点は、利用する生成 AI の利用規約により結論が左右されますが、【ChatGPT の場合、生成物の利用に制限がないことが利用規約に明記されているので、この点は問題になりません。】←

# 生成AIの利用ガイドライン（生成物の利用）

- (5) 生成AIのポリシー上の制限に注意する←

生成AIにおいては、これまで説明してきたリスク（主として法令上の制限）以外にも、サービスのポリシー上独自の制限を設けていることがあります。←

【 ChatGPT を利用する場合、以下の点に注意してください。←

Usage Policies (<https://openai.com/policies/usage-policies>) で、「Adult content, adult industries, and dating apps（アダルトコンテンツ、アダルト産業、出会い系アプリ）」

「Engaging in the unauthorized practice of law, or offering tailored legal advice without a qualified person reviewing the information（許可なく法律実務を行うこと、または資格のある人が情報をレビューしないままに特定の法的助言を提供すること）」などの具体的禁止項目が定められています。←

また、医療、金融、法律業界、ニュース生成、ニュース要約など、消費者向けにコンテンツを作成して提供する場合には、AI が使用されていることとその潜在的な限界を知らせる免責事項をユーザに提供する必要があることも同ポリシーには明記されています。←

さらに、関連ポリシー上は、ChatGPT など OpenAI 社のサービスを利用して生成されたコンテンツを公開する際には、AI を利用した生成物であることを明示することなどが定められています。】←

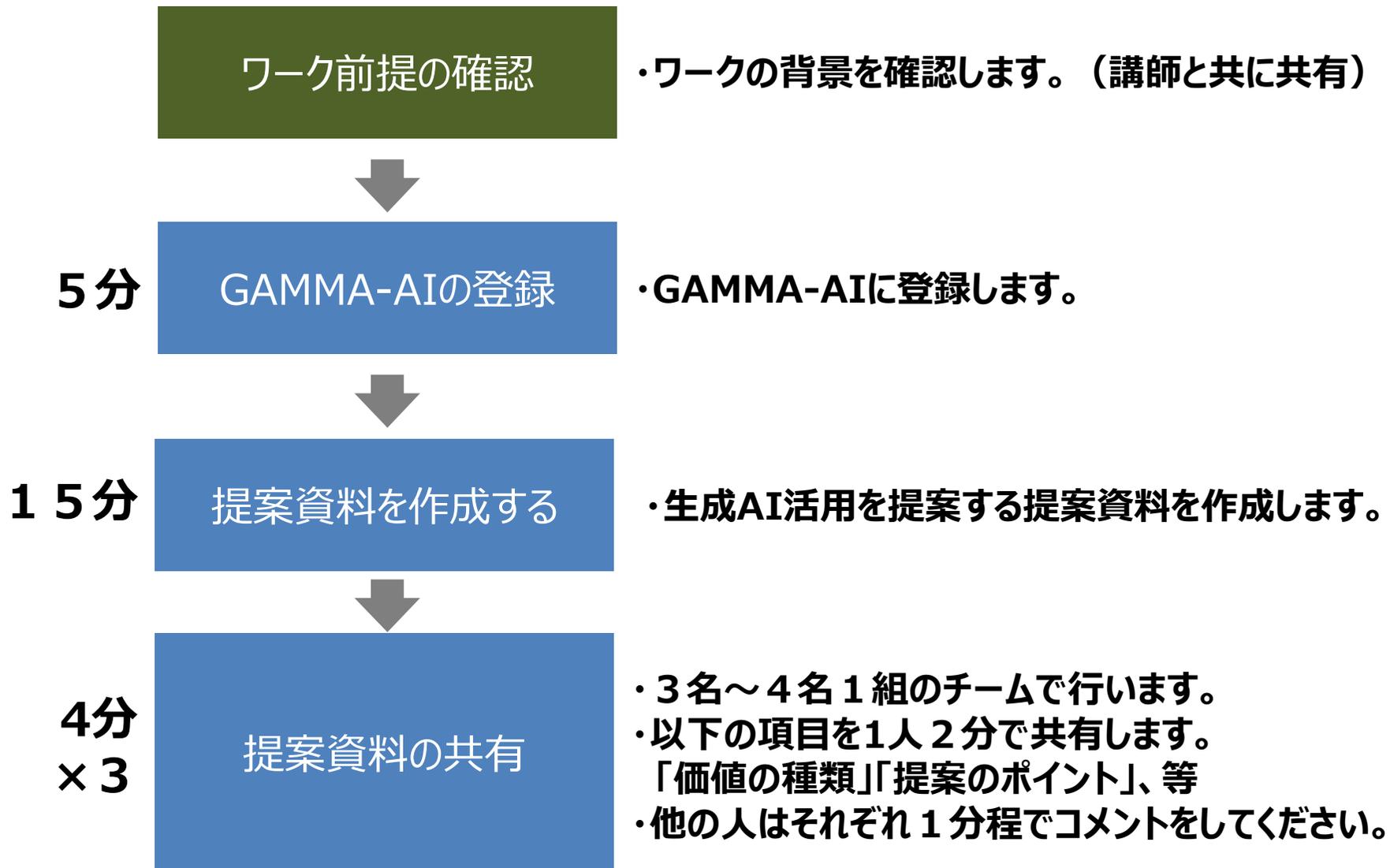
出典：生成AIの利用ガイドライン【簡易解説付】(第1.1版, 2023年10月公開)

提案資料を作成する



# ワーク：提案資料を作成する

プレゼンテーション生成AIを活用し、提案資料を作成します。



# 費用対効果とは

必要な費用と、その結果として得られる効果を比較する

## 費用

実行するために必要な総費用

- ・直接費用：ツールの導入費、開発費、人件費、
- ・間接費用：管理運営費、共通のマーケティング費用
- ・機会損失：メンバーが本活動を行う事で、他の活動から得られなくなってしまった利益
- ・リスクの折り込み：プロジェクトの失敗や遅延に伴う潜在的な費用の評価額

VS

## 効果

実行したことによって得られるメリットや効果

リソースが限られている状況で特に重要な考え方  
最も経済的で効果的な解決策を選択するための基礎情報を提供する

# 価値や効果の種類

財務的な定量的な観点に加えて、定性的な価値がある。

	項目	説明	備考
定量的	収益の増加	新しい収益源が生まれたり、既存の収益が増加する	
	コストの削減	運用コストや製造コストが削減される	
	投資対効果	投資に対する収益の割合	
定性的	新たなノウハウ経験	プロジェクトから得られる組織としての能力と今後の可能性	
	新たな協力会社との関係性	製品・サービスの多様化を可能とする調達能力	
	ブランド力の強化	顧客にとって良い認知が広がり企業価値の向上につながる	
	他社との差別化	新たな活動は他社と差別化し競争力の獲得につながる	
	新たな顧客とニーズの獲得	新たな市場への進出機会と、その市場での迅速なニーズの獲得	
	公益性	環境やコミュニティに対するポジティブな影響	CO2削減効果、等
	コンプライアンス確保	法規制や業界標準への対応	環境規制法、等
その他			

価値は主観的。様々なステークホルダーの異なる価値を考慮し  
長期的視点も取り入れながら、バランスをとる。

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

GAMMAに登録する。検索から「GAMMA」を検索。



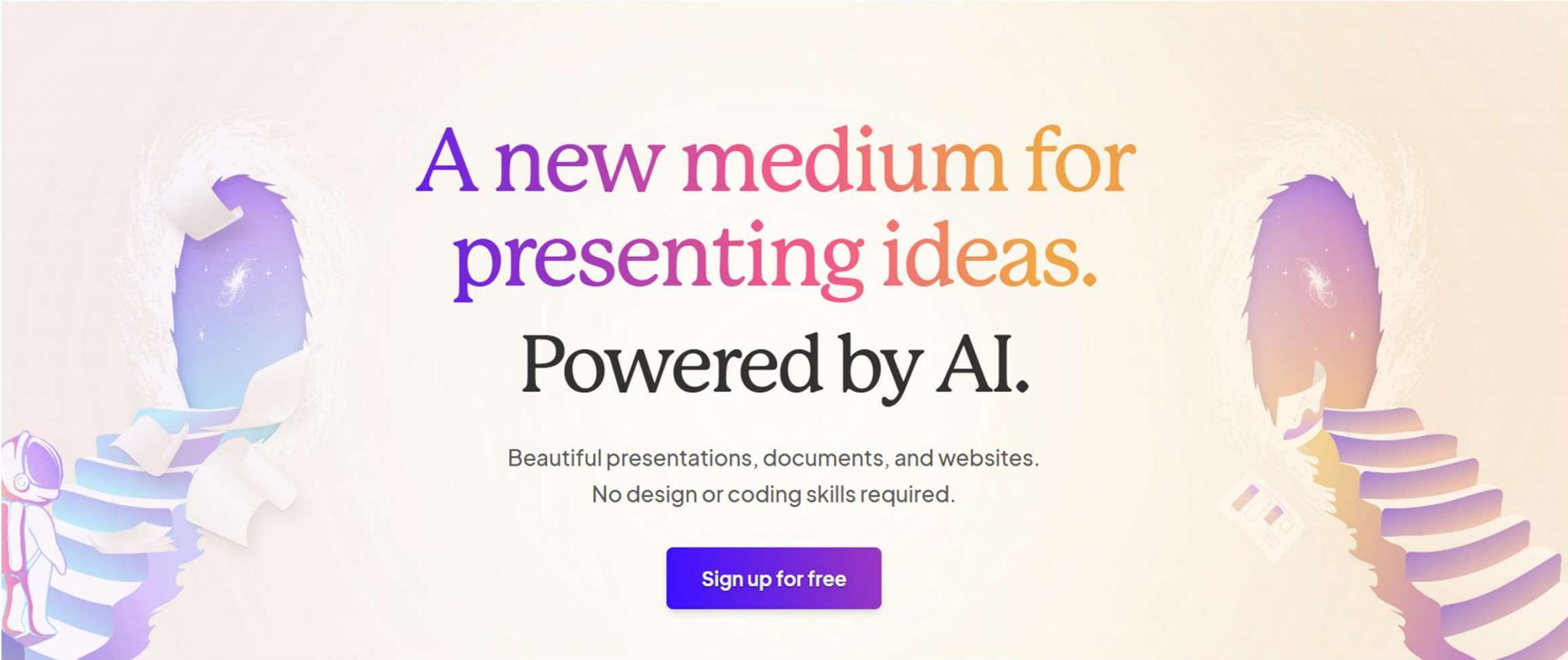
[Pricing](#)

[Careers](#)

[English](#)

[Login](#)

[Try for free](#)

The hero section of the Gamma landing page features a light beige background with two stylized, glowing portals. Each portal is a vertical oval with a purple-to-orange gradient and a starry space pattern. From the bottom of each portal, a set of stairs with alternating purple and white steps leads up. On the left, a small astronaut figure stands on the stairs. In the center, the main headline is displayed in a large, bold font. Below the headline, there is a sub-headline and a prominent call-to-action button. The overall aesthetic is clean, modern, and futuristic.

# A new medium for presenting ideas.

## Powered by AI.

Beautiful presentations, documents, and websites.

No design or coding skills required.

[Sign up for free](#)

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

GAMMAに登録する。言語を英語から日本語に変更。（右上のEnglishを日本語に）



Pricing

Careers

English

Login

Try for free

A new medium for  
presenting ideas.

Powered by AI.

Beautiful presentations, documents, and websites.

No design or coding skills required.

Sign up for free

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

GAMMAに登録する。「無料会員登録」を押下。

**Gamma**

価格 採用情報 日本語 ログイン **無料体験**

# アイデアを提示するための新しいメディア。 AIを搭載。

美しいプレゼンテーション、文書、ウェブサイト。デザインやコーディングのスキルは必要ありません。

**無料会員登録**

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

GAMMAに登録する。「Googleで続行」を押下。→ガイドに従って連携。



## サインアップ

 Googleで続行

または

メールアドレス

すでにアカウントをお持ちですか？[サインイン](#)

Gammaにサインアップすると、Gammaの [利用規約](#)および[プライバシーポリシー](#)に同意したことになります。

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

GAMMAに登録する。「ワークスペースを作成」を押下。→アンケートに回答

ステップ 1/2

## Gammaへようこそ

まず、ワークスペースに名前を付けましょう。

チームまたは会社  個人

ワークスペース名

TOSHIYUKI YONEMOTO's Worl

**ワークスペースを作成**

P.S. この設定は後でいつでも切り替えることができます 🙌

ステップ 2/2

## あなたについて教えてください

より良い体験を生み出すのに役立てられます。

Gammaをどのように使用する予定ですか？ \*

仕事用  
 学校用  
 個人用

どんな仕事をしていますか？ \*

その他

Gammaのことをどこで知りましたか？

その他

(オプション) CEOのGrantを喜ばせましょう 🍀

**始めましょう**

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

提案資料を作成する。「生成」を選択



AIで作成する  
どのように始めますか？

テキストを貼り付ける  
メモ、概要、既存のコンテンツから作成する →

⚡人気  
生成  
1行のプロンプトから数秒で作成する →

ファイルまたはURLのインポート  
既存のドキュメント、プレゼンテーション、ウェブページを強化する →

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

提案資料を作成する。作成する資料の概要を記入し、「概要を作成」ボタンを押下。

→例：「生成AIを“皆さんの業務”に活用する効果と想定するリスクに対する対策を経営層に提案する。」



生成

今日は何を作成しますか？

プレゼンテーション   ウェブページ   ドキュメント

8枚のカード   デフォルト   日本語 (です/ます)

生成AIをHP作成に活用する効果と想定するリスクに対する対策を経営層に提案する

✦ 概要を作成

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

提案資料を作成する。内容を確認した上で「続ける」を押下。

プロンプト 8枚のカード ▾ デフォルト ▾ 日本語 (です/ます)

生成AIをHP作成に活用する効果と想定するリスクに対する対策を経営層に提案する

アウトライン

- 1 AIによるウェブサイト作成の効果と課題
- 2 AIを活用することのメリット
- 3 AIを導入するメリットを具体的に説明
- 4 AIを活用する際の課題と想定されるリスク
- 5 リスクに対する具体的な対策
- 6 対策を講じることで期待できる効果
- 7 導入に当たっての留意点
- 8 まとめと提案

+ カードを追加

合計8枚のカード カードを分けるには --- を入力してください 137/5000

# ワーク：提案資料を作成する

## 手順

提案資料を作成する。画面右側から適切なテーマを選んで、「生成」を押下。

The screenshot displays a user interface for creating proposal documents. On the left, a preview area shows a document with the heading "見出しです" (Section Header) and "テーマのプレビューです" (Theme Preview). Below the preview, there are instructions and two buttons labeled "プライマリーボタン" (Primary Button) and "セカンダリーボタン" (Secondary Button). On the right, a "テーマの選択" (Theme Selection) panel is visible. It features a "生成" (Generate) button, a "テーマをシャッフル" (Shuffle Theme) button, and a search bar with filters for "ダーク" (Dark), "細" (Thin), "プロフェッショナル" (Professional), and "カラフル" (Colorful). A grid of theme cards is shown, each with a preview of the title and link text. The selected theme is "Kraft", which has a light beige background. Other themes include "Mystique" (dark background), "Petrol" (blue background), "Blues" (dark blue background), "Peach" (light orange background), and "Incandescent" (dark purple background).

# ワーク：提案資料を作成する

---

## 手順

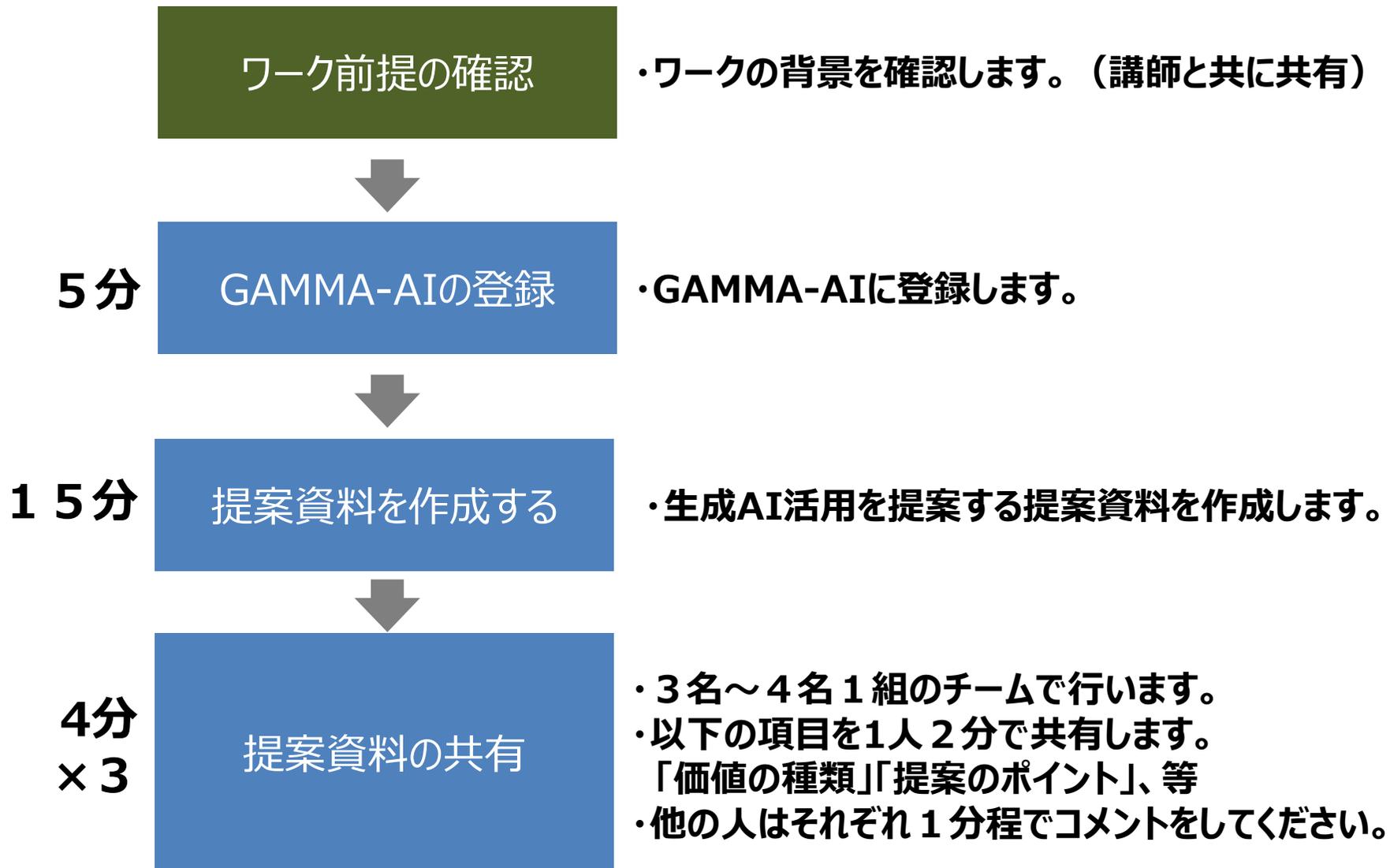
提案資料が作成されます。

→内容を確認します。

→資料はダウンロードをすることもできます。（画面右上「・・・」から「エクスポート」を選択）

# ワーク：提案資料を作成する

プレゼンテーション生成AIを活用し、提案資料を作成します。



さいごに



# シンボルグラウンディング問題（記号接地問題）

AIやデジタル技術では解決が難しいとされる問題がある

- データで表現される数値や画像を、現実世界ではどのような意味を持つか現実の概念に結び付けること。
- どのように意味付けるかは状況や主観的経験、心的状況など意識の問題とも関連している。



市場でレモンが売られていた。

イタリアンシェフ「・・・」

フレンチシェフ「・・・」

八百屋「・・・」

投資家「・・・」

作家「・・・」

プロジェクトに目的や意味付けをするにはリーダーの役割が大きい

# 最後に

---

**デジタル技術の進展によって、今までデジタル技術を利用されていなかった方にもその恩恵が受けやすくなっています。  
それに伴い技術の習得の機会も増えてきました。**

**本日の研修が、貴社のデジタル人材育成の一助となり  
さらなる発展のきっかけとなる事を願っております。**

**米本 利行**